

島根大学・寧夏大学国際共同研究所

International Joint Research Institute of
Shimane University, [JAPAN](#) & Ningxia University, [CHINA](#)



目 的

島根大学と寧夏大学は、長年にわたる教育・研究分野における協力により、多くの研究成果を収め、国際協力の経験を蓄積し、良好な関係を築いています。一層の協力と交流を展開していくために、両大学での協議を経て、JICA の円借款により、2004 年に島根大学・寧夏大学国際共同研究所(以下、研究所)を設置しました。

この研究所設置の背景には、寧夏大学が「西部発展研究センター」を設置し、西部大開発、特に寧夏南部山区の研究実績を積み重ね、現場との関係でも顕著な成果を上げていること、島根大学が日本国内の食料・農業技術に関する研究や中山間地域など条件不利地域の地域発展の研究においても、数多くの実績をもつことが挙げられます。更に、島根大学は同自治区内の寧夏医科大学と2004年に協定を締結し、医学分野を含めた学際研究の幅を広げ、国際的に貢献してきました。

本研究所は、中国西部内陸部に設置された日中の大学による共同研究所として唯一のもので、独立した建物を有し、日本人研究員が駐在しています。この立地条件と研究環境を生かして、本研究所では、都市と農村との地域格差の是正、中山間地域(条件不利地域)の社会・経済の活性化、環境と調和する開発方式、農村住民の健康の増進などを主要なテーマとして学際的な共同研究を行ってきました。今後も研究成果を当該地域の現場に普及し、さらに東アジアをはじめとする世界に発信するとともに、人材の育成と教育交流、研究交流を積極的に推進し、中国西部における学術ネットワークを構築し、国内外の研究者に開かれた中国・西部地域研究の拠点づくりを目指します。



島根大学 服部泰直学長

研究所組織

管理運営体制

	日 本 側	中 国 側
顧 問	保母 武彦 (島根大学名誉教授)	陳 育寧 (前寧夏大学長)
所 長	伊藤 勝久 (島根大学生物資源科学部教授)	王 鋒 (寧夏大学教授)
副所長	一戸 俊義 (島根大学生物資源科学部教授) 関 耕平 (島根大学法文学部准教授)	李 紅 劉 曄 (寧夏大学副研究館員)
研究員	田中 奈緒美 ※現地駐在	蔵 志勇 張 樂 李 楊



日本側所長
伊藤勝久 教授



中国側所長
王 鋒 教授

研究所運営組織(国際共同研究所対応委員会)

- 委員長: 島根大学・寧夏大学国際共同研究所長
- 委 員:
- 島根大学長
- 島根大学理事
- 島根大学副学長
- 島根大学法文学部 教員代表者
- 島根大学教育学部 教員代表者
- 島根大学医学部 教員代表者
- 島根大学生物資源科学部 教員代表者
- 島根大学総合理工学研究所 教員代表者
- 島根大学・寧夏大学国際共同研究所顧問
- 島根大学・寧夏大学国際共同研究所副所長
- 島根大学国際交流センター専任教員
- 島根大学学術国際部長



研究所のあゆみ

- 1987年 島根大学農学部(現生物資源科学部)の教員が、中国寧夏回族自治区南部山区にて学術調査を実施
- 1997年 8月 島根大学・寧夏大学 交流協定締結(8月18日)
- 2004年 3月 **寧夏大学・島根大学国際共同研究所の設置に関する基本合意書を締結し、開所(2004年3月11日) 国際協力銀行(JBIC)(現JICA)による中国政府に対する円借款事業の一環**
- 2005年 9月 島根大学・寧夏大学国際共同研究所 研究棟完成、落成記念式典開催
- 2005年 12月 **落成記念式典・国際シンポジウム開催(12月10日～11日)**
 於：松江市くにびきメッセ
 『東アジアにおける社会発展と環境のあり方を考える』
 ○記念講演 1件
 『2006年の世界潮流と日本』
 寺島実郎(財団法人日本総合研究所理事長(当時))
 ○個別報告 20件(日本13件、中国4件、韓国3件)
- 2006年 12月 **第1回寧夏ワークショップ開催(12月9日～20日) 於：寧夏大学**
 『寧夏経済社会の持続可能な発展』
 ○報告件数：9件(日本側4件、中国側5件)
- 2007年 10月 『20年学術交流—中国寧夏大学と日本島根大学の共同・交流』出版発表会及び記念座談会開催
島根大学・寧夏大学交流20周年記念国際シンポジウム開催
 (10月13日～15日) 於：寧夏大学
 ○基調講演 2件
 ○個別報告 29件(日本側11件、中国側18件)
- 2008年 4月 **島根大学・寧夏大学交流20周年記念式典及び記念シンポジウム開催**
 (4月21日～22日) 於：島根大学
 第1部 記念講演
 『中国民族の概況と民族政策の要点』
 陳 育寧(研究所中国側顧問)
 第2部 パネルディスカッション
 『交流の歴史と将来への展望』
- 2008年 6月 内蒙古師範大学歴史文化学院(内モンゴル自治区フフホト市)と西部学術ネットワークの形成に関する協定を締結
- 2008年 12月 **日本学術振興会「アジア・アフリカ学術基盤形成事業」による2008年度日中国際学術セミナーの開催(12月5日～7日) 於：島根大学**
 『条件不利地域における地域振興と生活改善 ～農林牧業の技術革新・新たな農村運営・地域医療と健康の疫学研究～』
 ○主題報告 1件
 『条件不利地域における地域振興と生活改善の方向』
 伊藤勝久(研究所日本側所長)
 ○個別報告 17件(日本側11件、中国側6件)
- 2009年 5月 西南大学歴史文化学院(重慶市)と西部学術ネットワークの形成に関する協定を締結
- 2009年 7月 島根大学・寧夏大学国際共同研究所第2次基本合意書(2009)を締結(2009年7月15日)
- 2009年 11月 島根大学・寧夏大学国際共同研究所、内蒙古師範大学歴史文化学院、西南大学歴史文化学院の三者により、『西部学術ネットワークの共同創設に関する覚書』締結



- 2009年 11月 日本学術振興会「アジア・アフリカ学術基盤形成事業」による
2009年度日中国際学術セミナー開催（11月9日～10日）於：寧夏大学
『条件不利地域における地域振興・持続可能な発展』
○主題報告 2件
『中国西部条件不利地域農村における地域振興と持続可能な発展を理性的に認識する』高桂英（研究所中国側所長（当時））
『条件不利地域における地域振興と持続可能な発展地域医療の観点から一』塩飽邦憲（島根大学医学部）
○個別報告 19件（日本側9件、中国側10件）
- 2010年 6月 蘭州大学歴史文化学院、蘭州大学西北少数民族研究中心（甘肅省蘭州市）と西部学術ネットワーク形成に関する協定を締結
- 2010年 9月 日本学術振興会「アジア・アフリカ学術基盤形成事業」による
2010年度日中国際学術セミナー開催（9月30日～10月2日）於：島根県民会館
『日中条件不利地域における持続可能な発展』
○基調講演 3件
『条件不利地域における持続可能な食料生産体系』一戸俊義（研究所日本側副所長）
『条件不利地域の城鎮化の趨勢に関する研究』高桂英（研究所中国側所長（当時））
『寧夏地域の人口、健康状況及び医療保険の状況についての紹介』宋輝（寧夏医科大学）
○個別報告 31件（日本側20件、中国側11件）
- 
- 2011年 12月 第9回 日中国際学術セミナー開催（12月17日～18日）於：寧夏大学
『地方経済の振興と持続可能な発展』
○特別講演 1件
○主題報告 2件
『地方の発展とは何か一経済発展論の限界一』伊藤勝久（研究所日本側所長）
『島根大学図書館所蔵の中国古典書籍と日本にある寧夏地方文献の現状についての調査研究一寧夏大学図書館所蔵の日本古典書籍の研究も兼ねて一』胡玉冰（寧夏大学）
○個別報告 29件（日本側10件、中国側19件）
- 
- 2013年 5月 第10回 日中国際学術セミナー開催（5月11日～12日）於：島根大学
『日中農村における持続可能な社会構築と環境教育』
○基調講演 3件
『地域や学校現場における環境教育一現状と課題・私たちの目指すもの一』松本一郎（島根大学教育学部）
『寧夏の農村流動人口による経済社会発展への影響及びその対策に関する研究』王鋒（研究所中国側所長）
『中国中西部におけるJICAの日中協力』高島亜紗（JICA中国事務所）
○個別報告 43件（日本側15件、中国側28件）
- 2013年 10月 島根大学・寧夏大学国際共同研究所図書館を開館
第11回 日中学術国際セミナー開催（10月21日～23日）於：寧夏大学
『中日両国における国際化を視野にいれた農村社会自然経済の持続可能な発展』
○特別講演 小林祥泰前学長（島根大学）
○主題報告 2件
『中国内陸地域における気候変動への対応経験』高桂英（寧夏大学経済管理学院）
『TPP参加と日本の農村』関耕平（研究所日本側副所長）
○個別報告 30件（日本側10件、中国側20件）

- 2014年 3月 島根大学・寧夏大学国際共同研究所第3次基本合意書(2014)を締結(2014年3月25日)
- 2014年 4月 平成26年度島根大学戦略的機能強化推進経費「中国西部学術ネットワーク拡大による島根大学プレゼンスの増強ー環境教育実践システムの移転とグローバル人材育成ー」(代表 伊藤)を開始
- 2014年 11月 **国際共同研究所設立10周年記念式典** 平成26年11月1日(土)於:島根大学
2004年3月に両大学が覚書を交わし開所した研究所設立10周年を記念し、日中国際学術セミナーの開催にあわせ記念式典を執り行いました。
- 記念講演
『東アジア・アイデンティティーの形成について』
大西 広(慶應義塾大学経済学部)
- 第12回 日中国際学術セミナー開催**(11月2日~3日)
於:島根大学
「日中農村における持続可能な発展と環境保全」
- 基調講演 2件
『中国西部の農村における環境教育の現状と展望』
李 隴堂(寧夏大学資源環境学院)
薛 晨浩(西北民族大学管理学院)
『生物資源科学部の農学系分野における地域貢献』
荒瀬 榮(島根大学生物資源科学部)
 - 個別報告 30件(日本側11件、中国側19件)
- 2015年 5月 西部学術ネットワークの拡充を図るため、伊藤所長の発議により島根大学と西北農林科技大学が学術交流協定を締結(5月22日)



国際共同研究所図書館について



国際共同研究所図書館は、島根大学と寧夏大学の研究者の学術交流強化と、日本の文化と風俗について広く寧夏の人々に知ってもらうため、また日中学術図書、日本の図書及び雑誌等を閲覧できる場所として2013年10月21日、研究所の2階に開設されました。

図書館機能の他に、島根県と松江市等の観光情報の提供、留学説明会等のイベント開催、島根大学に留学を希望する寧夏大学生への資料提供の場としても利用が始まっています。

図書館開設にあたり、小林前島根大学長をはじめ島根大学教職員、島根大学附属図書館、NPO日本寧夏友好交流協会等から、学術書、小説、雑誌、コミック等多種多様な書籍(計2,688冊)が寄贈されました。また、島根大学からは図書登録関連機器及び書架の購入費が、寧夏大学からは閲覧机、椅子、書架、図書管理システムが提供されました。

現在は寧夏大学の教職員及び在寧日本人に対する図書の閲覧・貸出や学術交流を促進する企画の実施場所としての利用が中心ですが、今後も日本語図書の整備と充実に努め、「日本に興味がある人々が気軽に集まれる場」として、利用者の拡大及び日中交流の促進に貢献していきたいと考えています。



開所式の様子

研究事業

2006年度

●特定研究寧夏プロジェクト

「農村から都市への人口流出のための都市基盤の整備調査研究」（井口隆史・保母武彦・王欣）
「第1回寧夏ワークショップ:寧夏経済社会の持続可能な発展」

●島根大学受託JBIC中水調査事業

「銀川・石嘴山両市の再生水利用に係る調査報告書」（保母武彦・井口隆史）

2007～2009年度・2010年度～

●研究プロジェクト(特定研究寧夏プロジェクト)

井口隆史:「中国寧夏南部山区農村の持続可能な発展に関する研究」
一戸俊義:「寧夏中部乾燥帯におけるメンヨウ飼養法の改善」
伊藤勝久:「寧夏南部山区における農民間のソーシャルキャピタルと持続可能な農村建設の研究」
神田嘉文:「中国寧夏南部山区農村の経済発展方式に関する研究」
小林伸雄:「寧夏回族自治区における園芸作物の流通動向と在来品種の保護に関する研究」
関 耕平:「寧夏回族自治区における静脈経済システムの現状と課題
—自動車リサイクルと廃棄物処理を中心に—」
谷口憲治:「条件不利地域における地域資源利用型地域経営と農村金融の役割」

2008～2010年度

●日本学術振興会 アジア・アフリカ学術基盤形成事業

「中国西部農村地域の環境改善と持続可能な発展への方策」
コーディネータ: 伊藤 勝久

【概要】日本の過疎山村に関する研究蓄積のある島根大学と、中国の代表的な低開発地域である黄土高原の農村を対象とした研究成果を上げてきた寧夏大学・寧夏医科大学とで研究者交流を進め、相互にセミナーを開催し、学術的共同研究の成果を発表し、共通認識を作ります。

とくに黄土高原の環境改善と適応・活用のための技術・社会経済にかかわる研究ならびに農村医学・公衆衛生学にかかわる研究を共同で行い、同時に今後の担い手となる若手研究者を育成し、これによって農村の持続的な地域振興・環境改善・生活改善を目指すものです。



2009～2011年度

●日本学術振興会 科学研究費補助金 基盤研究(B)

「中国西北部における砂漠化防止と社会経済構造転換の必要性に関する総合的研究」
代表: 保母 武彦

2012～2014年度

●日本学術振興会 科学研究費補助金 基盤研究(B)

「中国低開発農村の持続可能な新システムの形成と定着に関する研究」
代表: 伊藤勝久

2014年度

●島根大学戦略的機能強化推進経費

「寧夏プロジェクトによる島根大学・寧夏大学国際共同研究所の機能強化」 代表: 関 耕平
「島根大学・寧夏大学国際共同研究所機能強化のための組織強化」 代表: 伊藤勝久

刊行物

『島根大学・寧夏大学国際共同研究所年報 第1号～第8号』



島根大学・寧夏大学国際共同研究所では毎年度1年間の活動の記録として年報を発行しています。

研究所のホームページでは年報の閲覧(PDF)することができます。

<http://www.ningxia.shimane-u.ac.jp/nenpo.html>

『日中国際学術セミナー 論文集』

毎年相互開催をしている日中国際学術セミナーの論文集を発行しています。

セミナーでの報告の中から研究所で審査・選択し、論文集として発行しています。

『20年 学術交往—中国寧夏大学和日本島根大学的合作交流』

陳 育寧・保母武彦 編著 (2007年10月出版)

島根大学と寧夏大学との学術交流 20 周年の記念出版として刊行されました。20 年間の学術交流に係った関係者の論文・講演・回顧録を掲載しています。



『島根・寧夏学術交流の20年』 (回顧篇)

『中国農村の貧困克服と環境再生』 (論文・講演篇)

保母武彦・陳 育寧 編著 (2008年4月 花伝社より出版)



島根大学と寧夏大学との学術交流 20 周年の記念出版として刊行されました。

前年度に刊行された『20 年 学術交往—中国寧夏大学和日本島根大学的合作交流』の日本語版で、論文・講演篇と回顧篇の 2 冊で構成されています。

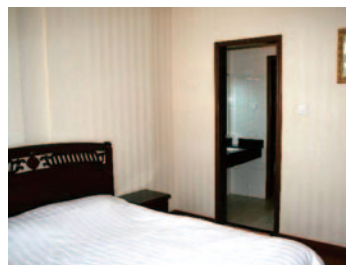
* 刊行物の入手をご希望の方は島根大学国際交流課までご連絡ください。

宿泊のご案内

研究所には現在、宿泊可能な部屋が 2 部屋あります。

寝室+リビングという構造で、シャワー・洗面所・テレビ・机など基本的な設備が整っています。

長期宿泊も承っておりますので、寧夏にお越しの際はぜひご利用下さい。



	1～7 泊	8 泊～14 泊	15 泊以上
料金	200 元／泊	150 元／泊	100 元／泊

* ご利用については、国際共同研究所または島根大学国際交流課までお申込下さい。

位置



交通アクセス

○北京市から银川市まで

空路: 北京空港→银川空港…… 約1時間30分

鉄道: 北京西駅→银川駅…………… 約12時間

○银川市から国際共同研究所まで

車(タクシー)利用…………… 約45分

シャトルバス+市バス利用…… 約1時間20分

○银川駅から国際共同研究所まで

バス(101番)…………… 約10分





島根大学 学術国際部 国際交流課

〒690-8504 島根県松江市西川津町 1060
Tel: 0852-32-9735 Fax: 0852-32-6481
E-mail: ied-koryu@office.shimane-u.ac.jp

島根大学・寧夏大学国際共同研究所

750021 中国 寧夏回族自治区銀川市西夏区賀蘭山西路 489 号
Tel & Fax: 日本国内から +86(国番号)-951-206-1818
E-mail: neika_kenkyusho@soc.shimane-u.ac.jp

島根大学・寧夏大学国際共同研究所ホームページ

<http://www.ningxia.shimane-u.ac.jp/>